

「バイオインターフェース先端マテリアルの創生」 第7回シンポジウムを開催しました。

開催日：平成29年2月10日

開催場所：あべのメディックス6F

参加者数：215人(一般90人、学生125人)

概要：工学研究科および「バイオメディカル先端マテリアル」研究会は2月10日に「バイオインターフェース先端マテリアルの創生」第7回シンポジウムを開催しました。8件の講演と72件のポスター発表を行い、活発な議論と共に実り多き会議となりました。学生によるポスター発表のうち特に優れた発表7件に対し優秀ポスター賞が贈られ、そのうち2件は本研究科の学生が受賞しました。



化学生物系専攻 前期博士課程 (M2)の中村亮介君が 「バイオインターフェース先端マテリアルの創生」第7回 シンポジウムにおいて優秀ポスター賞を受賞しました

発表タイトル: 1'-acetoxychavicol acetateの抗炎症メカニズムに関する研究

開催日: 平成29年2月10日

開催場所: あべのメディックス6F



化学生物系専攻 前期博士課程 (M1)の山田理絵さんが 「バイオインターフェース先端マテリアルの創生」第7回 シンポジウムにおいて優秀ポスター賞を受賞しました

発表タイトル: 光応答性ジアリールエテンによる量子ドットの発光スイッチング

開催日: 平成29年2月10日

開催場所: あべのメディックス6F

